

改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)

[指示事項]

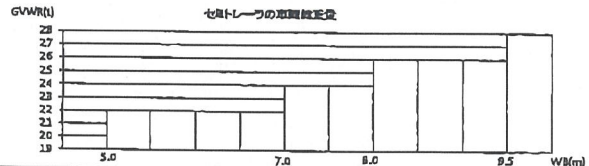
- 1.本改造は車台番号 DFPTF341A-27014~27018 の 5 台限りとする事。
- 2.けん引車はいすゞ QKG-EXD52BD (第5軸 11.5ト)で検討した。
- 3.審査の際は、本紙を提示する事。
- 4.本申請は、複数台届出とする。なお、通知書の写しは交付できない。
- 5.本車両は、車軸自動昇降装置付きである。
- 6.許容限度については別紙「許容限度計算書」の計算結果とする。

主要諸元比較表

標準車両の類別等を記載する。(1101.)

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度		
車名	フルハーフ	フルハーフ		乗車定員	人				
型式	DFPTF341A	DFPTF341A改		最大積載量	kg	28800	26100(3350)		
自動車の種別	普通	普通		車両重量 kg	前前軸重	—	11175(3500) (13200 kg)		
用途	貨物	貨物			後前軸重	—	8255 (9700 kg)		
車体の形状	セミトレーラ	ハーフセミトレーラ			後中軸重	—	8250(9680) (9700 kg)		
燃料の種類	—	—			後後軸重	—	8250 (9700 kg)		
原動機の型式	—	—			計	—	35930(13180) ≤36t (36170 kg)		
総排気量(L)又は定格出力(kW)	—	—		最大安定傾斜角度°	左	47	※ 44 一般≥45°		
長さ	m	12.780 (11.980)	13.970 (12.970)		右	47	※ 44 その他≥30°		
幅	m	2.490	2.495	≤2.5m	タイヤサイズ	前前軸	—		
高さ	m	3.720	3.770	≤3.8m		後前軸	11R22.5-14	11R22.5-14 (10000 kg)	
軸距	m	7.080+1.360+1.360=9.800	7.800+1.360+1.360=10.520			後中軸	11R22.5-14	11R22.5-14 (10000 kg)	
軸距	m	前軸	—		後後軸	11R22.5-14	11R22.5-14 (10000 kg)		
		後軸	1.830	1.830		前輪荷重割合	空車	—	
荷台の内側の寸法	長さ	m	12.605	13.640	リヤ・オーバーハング	m	2.180	2.390 ≤1/2,11/20,1/30 (7.013 m)	
	幅	m	2.470	2.410		荷台オフセット	m	2.765	3.090(3.090)
	高さ	m	—	2.330		最小回転半径	m	10.2	※ 10.9(10.6) ≤12m
車両重量	前前軸重	—	2370[2370]		積車	—	—	≥18.20%	
	後前軸重	—	2490						
	後中軸重	—	2490[7460]						
	後後軸重	—	2480						
計	kg	7130	9830						

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	kg ≤ 18t	kg ≤ 20t	16505 kg ≤ 19t

能力強度等検討

制動力	踏力 - N - km/h - m/s <sup>2</sup>			車軸強度	σ <sub>B</sub> /σ	/	=	—	≥1.6
	空気圧 - kPa				σ <sub>V</sub> /σ	/	=	—	≥1.3
推進軸	回転数	Nc/Np	/	=	—	≥1.3			
	強度	σ <sub>B</sub> /τ	/	=	—	≥1.6			
車軸強度	σ <sub>B</sub> /σ	490	/	213.0	=	2.30	≥1.6		
	σ <sub>V</sub> /σ	325	/	213.0	=	1.52	≥1.3		
	操縦装置強度	σ <sub>B</sub> /σ	/	=	—	≥1.6			
	緩衝装置強度	σ <sub>B</sub> /σ	X	/	X	=	X	≥1.6	
		σ <sub>V</sub> /σ	X	/	X	=	X	≥1.3	
	制動装置強度	σ <sub>B</sub> /σ	/	=	—	≥1.6			
	連結装置強度	σ <sub>B</sub> /σ	/	=	—	≥1.6			

- 注1:能力検討欄は、該当しないものは—、省略したものは×を記入すること。  
 注2:指示事項欄又は能力強度等検討欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。  
 注3:現車審査の際は、改造自動車審査結果通知書、外観図、改造部分詳細図及びその他特に指示された資料を提示すること。  
 注4:※印は、いすゞ QKG-EXD52BD 型トラクタと連結時の計算値を示す。  
 注5:長さ欄( )内の数値は、連結装置の中心(キングピン位置)から車両後端までの水平距離を示す。

改造等の概要

目的	<p>ステーション型からハン型に変更する。                  貨物保護のためウイングーフ付きバンセミトレーラとする。                  荷重配分を適正にするため、車枠及び轴距を変更する。                  振動・衝撃等により貨物の品質低下を防ぐため、緩衝装置を板バネより空気バネに変更する。                  コスト削減のため、緩衝装置に車軸自動昇降装置を取付ける。</p>
車枠及び車体	<p>轴距間の車枠、断面高さ510mmの部分の長さ寸法を3565mmより4285mmに変更する。</p>
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	<p>4枚テーパーハーフスプリングよりスイングアーム式空気ばね(φ360×395)に変更する。                  (フルハーフ KFKGG340N型 20国自審第1482号 新型自動車第18216号と同一装置)</p>
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

注1：変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。

注2：届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。

なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)

注3：自動車検査証記録事項について変更が生じる場合は、当該変更について道路運送車両法に基づく自動車検査証記録事項の変更が必要となります。(第67条関係)

# フルハーフ DFPTF341A改型セミトレーラ 外観図

